

(都立日野台高等学校 1 年生)

P1 表紙：解題

- 多様性とか異文化とかグローバル化とか耳にする機会多いと思う。それはどういう事なのか、自分たちとどういがかかわりがあるのか、どう対応していったらいいのか？
- まず異文化って？多様性って？身近なところから理解
- 続いてグローバリズムって？ 特にインターナショナルとグローバルの違いに着目、異文化が触れ合う→溶け合う。「国際人」って？「あいつは国際派だ」
- グローバル化というのは一部の産業や企業で進んでいる／これから起こることではなく、私たちの身近なところで現に起こっていること・・・実例を見て実感してほしい
- なぜ「グローバリズム」が進んできたのか、その明るい側面と暗い側面
- とは言え後戻りはできない、「自分は英語苦手だしそういうの関係なさそうだから」では済まないかも
- 異文化がぶつかり、融けあう「グローバル化」した世界でどう生きるか、「マニュアル」ではなくどう自分を作っていくのか、皆さんそれぞれが考えるヒントになれば

P2 異文化・多様性

- まずこの世の中どれだけ多様か、日本に住んでる人を想定してざっと書き出してみたが、これをかけ合せただけでも何十万、それどころではない組み合わせ。
この中でも女性・青年・見本・都会・・・これでくり切れるか？

P3 みんなの属性

- この 1 年生のグループのなかにでも「異文化」「多様性」はある

P4 世界レベルでの多様性

- 更に世界をベースにして見ると日本はこれでもむしろ特殊、多様性になじみにくいかもしれない
- インドの東がバングラ、西がパキスタン
- スイス：ドイツ語 62：1% フランス語 22.8% イタリア語 8%
ロマンシュ語 0.5%
- カリフォルニア州 家庭で話される言語 英語 57% スペイン語 28%

P5 思考実験

- 同じ人でもクルマ、自転車、歩きで違う態度を取る。3人でそれぞれの立場にたって自分勝手な言い分をぶつけ合うディベートをしてみたら面白い

P6 そういう風に立場—視点を変えるといろいろなものが違って見えてくる

- 日本で見ると世界地図は日本が真ん中、でも英国の学校の地図帳では英国が真ん中
- (西欧から見た) 中東: トルコ、シリア、カタール。サウジアラビア、イラン他
(西欧から見た) 極東: 東アジア、東南アジア、ロシアの一部
- 北極上空から見たらロシアとアメリカは隣同士。ベーリング海峡は 86 km
深さ 30 - 50 m
- こういう風に地球を見ると「国境って何?」と思う。これだけ多様な国々で様々な人たちが暮らしている地球でグローバリゼーション?

P 7 インターナショナルとグローバル

- 同じようにも見えるが、インターナショナルは国境を意識、日本対アメリカ、韓国対中国という二国間、または日本対外国という関係性、グローバルは宇宙ステーションから地球を見ている感じ、当然国境線は引かれてない
- 人も会社もモノもおカネも少しでも効率のいい機会・場所を求めて動き回る
- 誰にとっても他人事ではない、もとは戻れない道
- 具体的にはどういうことになっているのか、7-9の3ページで実例を見る

P 8 例1 私たちの日常にも・・・

- UNIQLO とかセブンイレブンとか吉野家とか海外でどんな展開してるか、HPで調べてみよう
- マクドナルドの世界展開は?
- カニカマはもちろん日本の発明だが、生産、販売のトップはどこ? 製造用の機械は?

P 9 トヨタは日本を代表する企業/世界トップの自動車メーカー・・・HP見ると

- 国内で266万台作っているが国内販売は129万台、それでも販売シェア49%
- グローバルな生産台数では903万台、一応日本が一番多いがそれでも266万台
- グローバルな販売台数では日本は北米、中国、その他アジアに次いで4位
- ほとんどのクルマを外国で作って外国で売ってるグローバル企業ということになる
- これでもトヨタは日本の自動車会社の中では国内生産比率が高い。国内生産比率: トヨタ29% (2022年) 日産13.9% (2021年)、ホンダ14.9% (同)

P 10 グローバル投資・・・おカネの動きということで見えていくと

- 皆さんの保護者の世代が払い込んで、現役の時に払い込んでいたおじいさんおばあさんが受け取っている年金の資金、190兆円! 約半分は海外の株式や債券に投資されている
- 日本や海外の経済状況、金利、為替、企業業績などをこまかく調べて、どの企業にどれ

だけ投資するのが最適か、常に見直して株や債券への投資を行っている。

- 円で集められて円で支払われる年金ではあるが、円—日本国内市場だけに投資したのでは利益を上げ、リスクを分散する機会を十分に確保できない。例えば株式市場、1989末100万円投資していたら今、日本株は70万円、米国株は1100万円（2753→31861、38945→27333、137.96→131.80。アメリカ国債10年物利回り3.5%、日本0.5%・・・なぜこんなことになった？

P11 なぜグローバリズム？

- 人類の歴史という大きな話をする、もともと現在の人類は10万年くらい前にアフリカで発生、ネアンデルタール人と混ざりあったりしながらヨーロッパ、ユーラシア、インドと別れて行ったらしい。いろんな事情があると思うが、新しい場所を求めて移動
- ローマ帝国は紀元前27年成立、周辺の諸国とせめぎ合いながら欧州全域といまの英国の南半分まで支配、その後ガリア人、ゲルマン人とせめぎ合い、混ざりあい
- シルクロード、大航海時代、植民地時代、ネットでいろんな情報を検索してみよう。
- もともとお互いを利用しあったり、支配したり、交流したり、対立したりという大きな歴史の流れがあったことがわかる
- 現代はどうか？20世紀終盤以降、いろんな経路が短くなり、壁が取り払われ、動きが軽くなった→グローバル化の急進展

P12 グローバリズムの光と影

- グローバリズムと言うと何となく「よくなる」っぽいがそれだけではない。摩擦・きしみはある。
- 企業の立場で言うと高度な技術と安い原材料・労働力を結び付け、広い市場に販売して生産・利益を最適化
- おカネやモノの動きに国境がなくなり瞬時・大規模に動く。世界で均質な製品・サービスが提供される。結果、企業の経営者・所有者（株主）は儲かるが・・・格差・連鎖リスク・特色消える

P13 グローバル化する世界に生きる（1）

- P7で述べたように。誰にとっても他人事ではないし、後戻りもできない。とすれば、これを前提に生きていくしかない。
- 個人個人でどう対応するか？「異文化・多様性との共生」の基礎はいろんな形、経路を通じたコミュニケーション。だがお互いに調子を合わせる・同調すればいいのではない。
- 自分で考えて—表現する—相手の考えを聞いて共感・反論受け止める—その上で自分を表現・主張

- P 5 の歩行者、自転車、自動車の例、共通の「異文化」との共生。それぞれのルールに従った行動、意図、ルール／制約を知った上での主張・譲り合い・思い遣り

P 1 4 グローバル化する社会に生きる (2)

- コミュニケーションの基礎になるのはやはり共通の言葉
- 10 ページの「同じ銀行員同士でも」と言ったように、同じ日本語を話す同じ会社のなかでも担当分野や経験値によって「異文化」的に言葉が通じないことはよくある
- それも含めて言葉、特に「グローバル」という事を考えた時には語学は大切、まだ間に合う・・・あと P 1 4 の記述

P 1 5 グローバル化する世界に生きる (3)

- 確かに「言葉」は大切。だが、その前に「語るべきこと・中身」がなければ
- 自分の言葉（日本語でも外国語でも）で話せる中身を持っている人は通じ合える
- 英語が出来ても話せない人 v s できなくても通じ合える人

P 1 6 自分を作り上げる

- ではその中身をどうやって作り上げていくのか？
- もちろん基本は学校の勉強、楽しいものばかりではないが、これから生きていく上で必要な最大公約数の知識を身に着ける基礎トレーニング
- ただ、大切なのはその土台の上に自分でなにを積み上げてどんな建物を作っていくか、それが広義の教養。
- 学校や親に強制されるものではなくて自分の意思で選んで身に着けていくもの。大袈裟に言えば人類の文化の歴史に自分を繋げていく喜びを感じながら。これを積み上げていくと昔の人たち（古典）を含む他者との色んな出会いや繋がりができてくる。

P 1 7 とりあえず

- 夏目漱石→坊ちゃん（終わり）という知識ではなくて本当に読んで、聴いてみてほしい
- 今後皆さんが生きていく中で経験する様々なもの（苦しみ・楽しみ）がこの中にある。
- そのほかにも今日お話ししたトヨタとかカニカマとか UNIQLO とかセブンイレブンとか HP を通じて調べたり、地球儀を睨んでみると、その中に新たな発見があり世の中の見え方が変わってくる。もちろん投資って？年金って？外国の株式に投資するって？そもそも株式って？債券って？外国為替って？知りたいことはどんどん増える
- 今の学校の勉強は大切だが、今の時期を学校の勉強や受験勉強だけで過ごすのはとてももったいない

P 1 8 （おまけ）皆さんのこれから